

7歳のカナがまさかの
ヤンキーデビュー!?

アトム福大前 2019年08月01日 第41号
VIEW通信



●まだ7歳のカナが突然こんなヘアスタイルで帰つ

てきました!…なんと頭の左半分だけ剃り込んでカナが帰ってきました!ええっ!どうしたんだその頭!?ヘビメタかパンクロッカーのようなヘアスタイル!思わず笑ってしまいましたが、本当は動物病院から退院した日のカナのヘアスタイルなのです。

この約1週間前、カナがソファーの上でひっくり返って遊んでいたときに耳の中に梅干しのような形で真っ赤な異物を見つけたのです。耳が長くて垂れているので、普通は見えません。「何これ?」びっくりしてカナを抑えてよく見たら、耳の穴を完全に塞ぐくらい大きな赤い塊があるのです。6月のVIEW通信でご紹介した動物病院ニアベツツにユキを毎週のように連れて行っているのに、今度はカナがとんでもないことになっています。見るからに血の塊のような異物はいつ爆発するかわからない状態です。急いでニアベツツに連れて行きました。

■耳の中の赤い異物



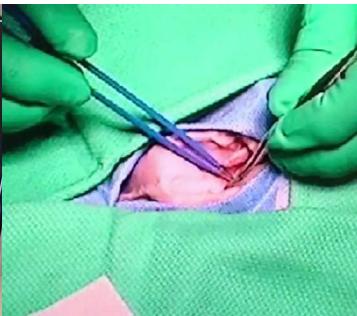
■飼い主の見学席

●飼い主に手術を公開してくれました…手術当日、朝一で病院に連れて行き、手術はお昼12時半からと言われました。「お父さん見に来られますか?」仕事もあるので「来れたら来ます。」と返事して置いて帰りました。その時置いていかれるカナの不安そうな表情と、ぶるぶる震えてたのがたまりません。運よく仕事が空いていたのでやはり見に行くことにしました。

午後12時半手術室前の飼い主が見学できる席につきました。ガラス越しでも見えますが、手術台の上にカメラが設置しており、手術状況をリアルタイムに見ることができます。自分はスマホのカメラで手術の一部始終を撮影しました。最初に耳の中を消毒するのですが、かなり念入りに15分以上はかかったと思います。そして手術開始、腫瘍をレーザーメスで切除していました。後で聞いた話では皮と軟骨しかない耳の中は、縫わなくてもよいようにレーザーメスを使うそうです。出血もほとんどなく約10分ほどで無事取れました。何だかテレビの医療ドラマでも見ているように、4人のスタッフ全員で真剣に手術していただいたのには感激しました!



■4人体制での手術室



●そして7月30日腫瘍の病理検査結果が出ました!…実は今回のVIEW通信の原稿の段階では、まだ病理検査の結果待ち。結果次第ではボツの可能性も、、、7月30日にカナを連れて傷口の消毒と検査結果を聞きに行きました。結果が心配なのに先に傷口消毒をして、やつと呼ばれたのです。結果は「良性」!組織学的診断は「形質細胞腫」やはり腫瘍ではありますが、転移しない良性のものだったのです。入院費・手術費・抗生素などしっかり費用も掛かりましたが、飼い主の気も知らずただ迷惑そうな様子のカナなのでした。

と言うわけで、この原稿がボツにならずに済みました。カナの頭の毛もやっと生えてきて、何事もなかつたように元気にはしています!今回も我が家家の愛犬情報を最後までお読みいただき感謝です!皆様がご来店の節はきっとまたしっかり吠えてくれると思います!

●我が家の二階のお騒がせ猫のその後です…4月10日のVIEW通信を読まれた皆様から「見つかってよかったです!」「うちにも猫がいるけど心配だったでしょ?」とかたくさんご連絡をいただきました!そんなおさわがせ猫、旧姓(名)「セブン」今は前の猫の名前を継いで「チャトル」の近況をご報告したいと思います。

我が家には前述のミニチュアダックスのユキとカナが1階に暮らしていて、2階には家内の両親と4月にやってきた「お騒がせ猫」のチャトルがいます。彼らは全く交流がありません。昼間はユキ・カナが出勤するので、1階に降りてきてリラックスしているのですが、夕方からはさっさと2階に上がって気配を消しています。犬たちがお休みの日に、知らずにお降りてきて遭遇した時は大騒ぎ!圧倒的に猫の動きが速いのでまだ流血騒ぎは起きていませんのですが…。

4月にやってきたときもかなり大きな猫だと思いましたが、当時で7.3kg、1週間から10日ぐらいで我が家に慣れたのか、段々太ってきて今では8.1kgの巨体に。メタボ用のえさに変え、さらに量も3割カットしましたが、まだ痩せません。少しあは犬たちとバトルした方が良いかも知れないですね?

■犬みたいに寄ってきますが寝姿はちょっとひどい



■ロフトから顔だけ出してると普通の猫です

